

# 保育総合研究会広報誌 NO. 75

発行所： 保育総合研究会事務局 H30. 12. 25

茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼こども園内

TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831

発行人： 会長 梶 沢 幸 苗



平成30年11月20日(火)午後1時30分から、アルカディア市ヶ谷私学会館において第62回定例会が開催された。



## 環太平洋乳幼児学会(ペセラ)マレーシア大会報告

13:45~14:15

<報告者> こども園つるた乳幼児園 福澤 紀子  
こども園あおもりよつば 只野 裕子  
さざなみ保育園 平山 猛



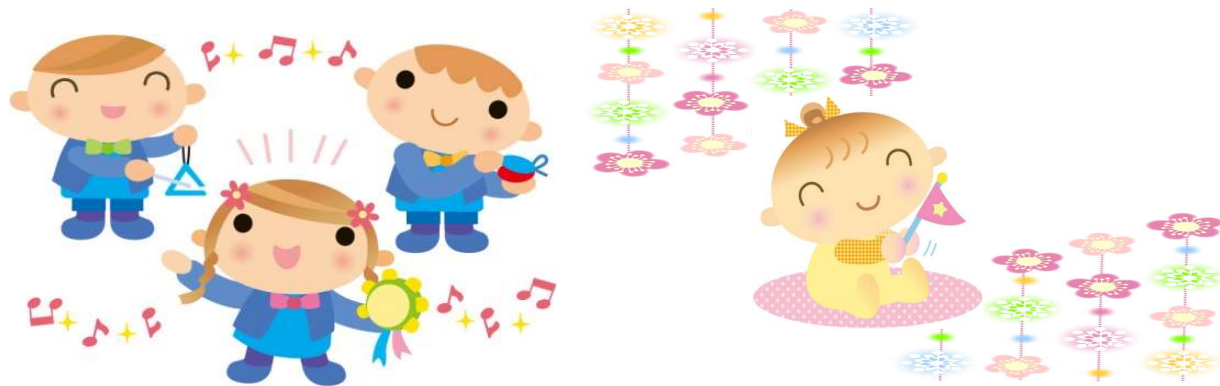
### 環太平洋乳幼児教育学科(PECERA)

・環太平洋地域における乳幼児教育研究の発達を図る組織として、2000年に設立した。  
2018年7月6日~8日  
マレーシア サラワク州クチン会場



・施設見学  
PrasekolahSKTabuanクチンの国立学校が運営するプレスクール  
1996年にAmonah、2006年にBestariが開設  
5~6歳の子ども達が在籍

・TASKA PERMATA KEMASKAMPDNG  
1998年にAsajiyo地区区役所にPPRTを通じて、役6.5m<sup>2</sup>×8.5m<sup>2</sup>の底面積にTASKAの初めてのコミュニティが2001年3月1日10名の子ども達で活動を始めた。

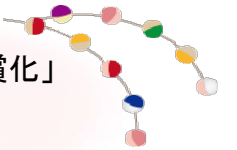


## 現況報告

14:30~15:15

<テーマ> 「5年後の見直し及び無償化」

<講師> 当会副会長 坂崎 隆浩



就学前教育・保育の無償化は子ども・子育て支援新制度の対象とならない私学助成幼稚園の利用料も、新制度同様に上限(月額2.57万円)として無償化の予定。

実費徴収している費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は、無償化の対象外としている。

1号は(4時間程度)については満3歳(3歳になった日)から、2号については3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から無償化。



認可施設以外の施設等については、上記取扱いも踏まえて検討がおこなわれているところである。

0歳から2歳児の3号の利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化を予定している。

・(対象施設、サービス)

幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育、企業主導型保育業も同様に無償化の対象としている。

・給食費(食材料費)自己負担問題

幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書(抜粋)から保護者からの実費徴収している、通園送迎費、食材料費、行事費などの経費については無償化の対象から除くことを原則とすべきとしている。尚、そもそも認可施設における食材料費の取扱いが保育の必要性の認定が保育所・幼稚園の種別で異なっている現状があり、早急に検討すべきである。

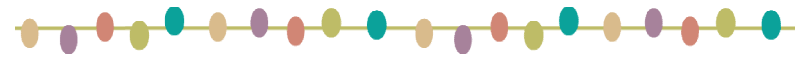
・支給認定区分による食材料費の負担方法の違い

給食費のうち食材料費は、非課税世帯等を除き、保護者の自己負担が原則。新制度の認可施設・事業所では、1号~3号認定の支給認定区分により負担方法が異なっている。

・現行非課税世帯以外の1号は主食、副食ともに保護者の自己負担、2・3号認定については、昭和24年の保育所給食制度の開始当初から措置費に給食費を追加し、その措置費を負担能力のある者から徴収している。

※したがって1~2号は人件費は公費負担、食材料費に係る月額、主食費3,000円副食費4,500円を保護者負担している。非課税世帯等の場合、減免等の緩和措置を検討している。3号は現状どおりの完全給食として全額公費負担の予定である。





## 講演

15:30～17:00 <テーマ> 「保育現場を見ながら、日本社会と保育について考える」  
<講師> 関東学院大学教育学部 久保 健太 氏



・「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに物事を解決する方法は学習者にあり、それを引き出すのが教育者の仕事である。

試行錯誤の中で、子どもたちは知識・技術を発揮したり、結びつけたりしています。そこに子どもたちの学びがあります。

どうすれば「主体的・対話的で深い学び」が生み出されるのか、「学習には五つの段階がある」という考え方が、その参考になります。

エンゲストロームの学習論によると、学習を5つの段階で描くことができます。



1. やりたい。
2. やりたいけど、できない。できないけどやりたい。
3. やった。できた。
4. いつでも、どこでもやりこなせる。
5. できるようになったことが、周囲に波及する。

これらの本質は、子どもたちの「やりたい」と「やりたいけど、できない、できないけど、やりたい」をあらためて大事にすること。

「やりたいけど、できないから、やらない」という子どもには保護者の力を含めた支援を行うこと。

[学習Ⅰ] ・指示待ち人間(マニュアル人間)・・・AIロボットはもっと正確にできる。

[学習Ⅱ] ・知っている方法の活用

[学習Ⅲ] ・対話で解決方法を見出す・・・AIロボットが苦手な分野

⇒発揮できる環境を作ることが教育の仕事

